



カナケン

新号号  
1・2・3  
月号

# 健康定期便

2012.01・02・03

新春お年玉企画 1月5日~1月31日迄

新登場 カナケン輝 4P、銅ポインター  
オムロン赤外線治療器、スチームホット J700  
テンピュール®クラウドコンフォートピロー 他  
話題の新商品満載でお届けします。



もっと知りたい、  
もっと伝えたい

## もっと活用術

第4回

『バイオカナックス』編

# 「正しい痛みの仕組みを知り、 正しい鎮痛方法を施すことで初めて効果が出る」

金田先生が痛みのメカニズムを勉強するようになったのは約6年前。治療の効果を上げるためには、(痛み)のこを正しく知らなければいけないという考えからです。それからは、痛みの研究をしている先生方の書籍や、痛みのメカニズムに基づいた治療をされている医師や治療家の方たちのサイトを参考に勉強を重ね、患者さんと日々向き合いながら、治療を行っています。ここでは、微弱電流治療器がどのように活用されているのかをご紹介します。



手作りの掲示物。▶  
患者さんとのコミュニケーションの様子がよくわかる



### 治療を加えたときに、どのような生体反応が生じているかを知ることが大切

「薬物以外での疼痛抑制法の一つに『非侵害刺激による脊髄後角における侵害性インパルスの抑制法』という方法があります。つまり、痛みを伴わない気持ちの良い軽い刺激を加えると、交感神経活動が抑制され、血流が改善し、局所の発痛物質の濃度が低下するため、痛みが楽になるという人の生体反応を利用した疼痛抑制法です」こう語るのは、金田隆佳院長。痛みを楽にするために、その治療を加えたときに、患者さんにどのような生体反応が生じているかをわかっていないと施術がうまくいかない。また、正しい痛みの仕組みを知らないと電気治療器を使った治療の効果が期待できない、と言います。

筋緊張の亢進、交感神経活動の亢進は血管を収縮させ、その結果血流が悪くなり痛みを伝える化学物質(ブラジキニン)の濃度を高め、ポリモーダル受容器の活動を助長します。その結果、痛みがさらに強くなるのです。やがて、痛みが痛みを引き起こす「痛みの悪循環」に陥ってしまいます。痛みを改善するためには痛みの悪循環の何処かを断ち切ってあげなければいけないのです。その為には、しっかりと筋肉を弛めることが必要になってきます。しかし筋肉を弛めると言っても、ただやみくもにマッサージしたりストレッチすればいいということではありません。痛みの原因となっている筋肉が、必ずしも患者さんが訴える『ここが痛い』という場所に存在するとは限らない。ですから、正確に治療をするためには、関連痛を引き起こすトリガーポイントや筋肉など軟部組織がダメージを受けたときにどういった反応が起こることがあるかを知らないといけません」

### 患者さんの痛みが取れることが一番

世の中には、「あれをこうすれば良くなる」といわれる治療法が数多くあります。その中の何かの治療を受けることによって良くなってしまえば、それが原因で患部の筋緊張や交感神経系の活動が亢進して血流不全からポリモーダル受容器の活動が起きていたということになるのですが、その治療が



▲スタッフの小笠原さん(右)と根本さん(左)

「電気治療器の効果は目に見えないのです。しかしバイオカナックスに期待できることは、電流そのものの刺激が交感神経系活動を抑制してあげる効果がある、唯一の微弱電流だということです。マッサージやストレッチと同じで、薬を使わない鎮痛方法として、体に色々な刺激を加えたときに、人間の体にはどういった反応が出るのか、生体反応があるのですが、そのときに私は「非侵害刺激」という治療の、システムの一環として、このバイオカナックスを使わせてもらっています。患者さんが困っている腰痛や肩こりなどは主に痛みを伝える神経線維の中のC線維により中枢に伝えられます。そのC線維の末梢にポリモーダル受容器が存在しますが、このポリモーダル受容器の活動が、患者さんを困らせている痛みの原因になっています。ポリモーダル受容器は、皮膚・筋膜(筋肉)・靭帯・腱・関節包・内臓など全身に分布してい

すべての人に効果がある訳ではないので、大切なのは治療を施す側も受ける側も、最初から原因の一つにしばり込まずに、身体全体をとらえていくことだと思うのです。患者さんも自分の身体のことをわかって治療を受けると、受け方のスタンスが変わりますし、これはやはり病院で診てもらうのがベスト、となれば自分で判断ができる訳ですから、私はそれで良いと思います。患者さんの痛みが和らぐことが大切です。もちろん、治療の効果が出るのが患者さんにとっては一番良いことなわけです。だから、患者さん一人ひとりの「痛みの原因」を理解して、治療器を使い分けてあげることが大切になると思います」

細胞に働きかける  
**Bio Kanax**  
バイオカナックス

マイクロレント  
微弱電流

バイオカナックスは、人間が本来持っている自己回復能力を助けることで、静止細胞を活性化し、筋肉を調整、回復、改善させます。

- 独自の4極干渉通電方式
- 痛みを、筋肉系・神経系に分けて治療します。
- 部位を選べば、プログラム治療ができます。
- ワンタッチ選択方式採用により、治療モードは簡単に選べます。
- ディスプレイで、治療状況を把握することができます。

①バイオカナックス  
●KE-525 ¥892,500 (本体価格 ¥850,000)  
医療用具承認番号 21200BZZ00333000  
[クラスII/特管]

## DATA

### かねた整骨院

〒017-0035  
秋田県大館市字代野233-14  
(東中交差点を代野方面へ、  
右にALSOK、左に創価学会、  
旧小坂鉄道踏切が見えたら踏  
切を越えてすぐ左側の赤い屋  
根・黄色い壁が自印)  
電話：0186-45-2700  
HP：http://www.kanetaseikotuin.com



※『もっと活用術』では取材先を募集中です。  
HPからも受け付けいたします。  
ご感想もぜひ、お寄せください。

商品が届いたその場で 現金 クレジットカード(分割払いを含む) デビットカード(キャッシュカード) いずれかご自由に選べます。